



選挙後の活動報告

皆様お元気ですか！

4月に行われた横浜市議員選挙では、17,866名の方々に投票いただき、当選することができました。この結果に奢ることなく、変わらずにがんばってまいりますので、よろしくお願い致します。

今回の横浜市議員選挙の旭区投票率は44.46%で、前回より3.59%下がりました（今回選挙の旭区の有権者数は男女合計で203,561人、その3.59%は約7,300人になります）。横浜市の平均も42%で、投票率が低かったことは横浜市内全体的なことでしたが、より良い社会にするためにも、私を含め政治に関わっている者は、低投票率の結果を謙虚に受け止めなければならないと思います。若い世代の投票率が低い状況の中、来年の参議院選挙から初めて18歳選挙権が実施されますので、高校生にも民主主義や社会の仕組みをわかりやすく教育しなければなりません。少子高齢化が急速に進む中、選挙に参加することを通じて自ら社会を担って行く意識を若い世代の方を持つてほしいと思います。

選挙後には、横浜市会定例会や自民党市連大会も開催され、議会では政策・総務・財政委員会の委員長に、自民党横浜市連では総務会長に就任しました。いずれも重責を担うことになり、今まで以上に精進してまいります。

○大槌町を訪問

先日、ボクシングの八重樫選手（岩手県北上市出身）や大槌町へ漁船「瀬谷丸」を寄贈した「三陸沖に瀬谷丸を！」実行委員会（露木会長）のメンバーと一緒に募金活動を行い、岩手県大槌町を訪問し、新おおつち漁協の漁師さんへ漁船「瀬谷丸」で使用するライトを寄贈させていただきました。旭区内読売新聞販売店各社様の多大なるご支援に対しましても、この場をお借りして御礼申し上げます。

現地では、夜明け前の午前3時半に瀬谷丸に乗船し、定置網漁を見学させていただきました。漁船は雨でも雪でも日曜日以外は毎日出航しています。普段当たり前のように食べている魚ですが、実際に漁の現場を体験すると、漁師さんに対する感謝の気持ちが足りないと感じました。

漁師さんを含め、大槌町では、現在もなお約3,500人の方が仮設住宅で暮らしています。震災前の人口は約16,000人でしたが、現在は約12,500人です。復興支援のために横浜市からは2名の職員を派遣しています（2面参照）。大槌町の町長をはじめ職員もお亡くなりになられた方が多く、現地の職員127名と165名の派遣職員で町役場を運営していますが、副町長さんからは職員の人数が足りないとお話をお伺いしました。人口減少により雇用はあるが働き手がないことや資材の高騰による事業費の拡大、公営住宅整備の遅れなど課題も多く、復興支援に今後とも注視しなければならないと思いました。

大槌高校吹奏楽部と希望ヶ丘高校吹奏楽部は震災後に交流が始まり、大槌高校の生徒さんは二度も希望ヶ丘高校で演奏してくれました。今回の訪問では校長先生にも面会でき、私も母校の同窓会の理事として両校の交流を深めることができました。

4年前の統一地方選挙は東日本大震災直後でしたので、市民の皆様の関心は被災地の復興や防災対策でした。私も横浜市の被災地支援の取り組みや計画停電の情報をお伝えさせていただいたことを覚えています。時間が経つにつれて被災地への関心は薄れているように感じます。今回の訪問を通じて、被災地の復興なしに日本の発展はないことを改めて心に誓いました。そして、被災地の復興支援は、現地を訪問したり寄付することのほか、実には、私たちが自分の仕事をがんばることが復興につながるものと思います。現地での八重樫選手の人気は絶大でした。八重樫選手もチャンピオンに復帰することが多くの被災地の方を勇気づけることになると思います。私たちも毎日をがんばりましょう！

横浜市議員 古川なおき



▲新おおつち漁協の皆様と瀬谷丸船上にて

古川なおき
県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)
現在 平成27年 政策・総務・財政委員会委員長
健康づくり・スポーツ推進特別委員会
自民党横浜市議員団所属/横浜市会FCキャプテン
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会理事/横浜スキー協会会長
旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問
旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問/旭区剣道連盟顧問

横浜市は平成27年度も被災地へ長期の職員派遣を行っています

☆長期派遣の内訳（20名：派遣期間 H27.4～H28.3）

東日本大震災の被災地の復旧・復興を積極的に支援するため、平成23年度より、政令市で最大規模となる職員の長期派遣を継続実施してまいりました。引き続き27年度も、20名の職員を長期で派遣し、総合的なまちづくりやインフラ整備、被災者の方の生活支援等、様々な支援にあたります。

| 派遣先 | 人数 | 職種内訳 | 主な業務 |
|-----------------|-----|----------------|-----------------------------------|
| 宮城県山元町 | 8名 | 事務職2名 技術職6名 | ・上下水道施設の復旧業務 ・新市街地整備、災害公営住宅整備等 |
| 宮城県多賀城市 | 1名 | 事務職1名 | ・道路等公共施設の災害復興業務 |
| 宮城県塩竈市 | 1名 | 技術職1名 | ・漁港の災害復旧業務、設計等 |
| 宮城県石巻市 | 3名 | 事務職2名 技術職1名 | ・復興の企画立案、建築確認検査、 税務等 |
| 宮城県気仙沼市 | 2名 | 事務職2名 | ・被災文化財の保護事務、税務等 |
| 宮城県南三陸町 | 2名 | 技術職2名 | ・水道施設災害復旧事業等 |
| 岩手県大槌町 | 2名 | 事務職2名 | ・災害公営住宅等管理事務、総合政策 の企画立案等 |
| 石巻地方広域 水道企業団 | 1名 | 技術職1名 | ・水道施設災害復旧事業等 |
| 合計 | 20名 | 事務職9名・技術職11名 | |

★地域のお悩み解決隊★ ☆政務調査員・塚本☆による報告



File5 続・政策コンテスト！

全国で3位！政務調査会長賞を受賞！

去る5月30日、永田町の自民党本部にて政策プレゼンコンテスト全国大会が開催されました。古川レポート127号でもご報告をさせていただきましたが、私が神奈川県代表として選ばれ、このたび出場して参りましたのでその様子をご報告いたします。

このコンテストは、自民党の青年局が中心となり45歳以下の政策を全国から公募、昨年までに各都道府県にて予選会と本部選考が行われ全国の上位10人による決勝大会が先日行われました。

私は『大都市圏における地産地消の推進について』というテーマで発表をさせていただきました。なぜこのテーマを選んだかということ、私自身が旭区内の農家の方のところで農業体験やお話を伺ってきた経験から、一口に農業問題と言っても地方の大規模農家と横浜のような都市農家との間では直面している課題が随分と違うこと、またそれにも関わらず、地方の農家の声を中心に我が国全体の農業政策が進められているように感じ疑問を抱いたからです。具体的には都市部ならではの高い相続税の問題や、就農者の高齢化の問題を取り上げ、税制の改革や、学生インターンを活用した援農支援策を提案させていただきました。

私以外の発表者は、子育て支援や母子家庭支援、また過疎地域の漁業支援など、さすがは全国大会とあって、現在我が国が直面している様々な問題点に対する内容の濃い提言がなされており、発表者も現職の県議会議員や大学の研究者、弁護士などそれぞれの分野の専門家が集まっていました。

さて、いよいよ私の順番になり、テレビのニュースなどで目にしたことがあるその舞台上へと足を進めて行きました。登壇すると300名定員のホールはほぼ満席、前が見えないほどに向けられたスポット

ライト、そして観客席には私以上に緊張した面持ちで見守る古川なおき。

私は農政の専門家でもなければ、何か特別な資格を持っているわけでもありません。それでも政治に携わる者のひとりとして自ら地域を歩き、体験し、肌で感じた都市農業の現状を伝えたい、その思いだけで旭区内の農家の方々の顔をひとりひとり思い浮かべながら丁寧に発表をさせていただきました。

そしていよいよ結果発表、最優秀賞には惜しくも1点差で及びませんでしたでしたが政務調査会長賞を受賞することができました！

日頃より都市農業の課題についてご意見やご指導いただきました皆様にはこの場を借りて感謝申し上げますとともに、これからも政務調査員として地域の問題の発見と解決に向け精一杯努力して参ります。古川なおきはもちろんのこと、政務調査員塚本勇太の活躍もご期待下さい！！

▼賞状と盾



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: jm@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています！

古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1
希望ヶ丘駅より徒歩6分

